



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 太平洋興発株式会社

コード番号 8835 URL <http://www.taiheivo.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 幹介

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 上原 與章

TEL 03-5830-1602

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	23,170	20.2	607	57.0	716	18.1	549	35.5
23年3月期第3四半期	19,268	3.3	386	△31.6	606	△42.5	405	24.6

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 648百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 30百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	8.10	—
23年3月期第3四半期	5.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	34,309	13,143	37.3	188.73
23年3月期	33,371	12,598	36.8	181.33

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 12,797百万円 23年3月期 12,295百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	1.50	1.50
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	16.7	700	4.2	800	△12.2	500	55.4	7.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有
詳細は、添付資料2ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」を参照。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期3Q	67,834,489 株	23年3月期	67,834,489 株
24年3月期3Q	27,379 株	23年3月期	24,987 株
24年3月期3Q	67,808,598 株	23年3月期3Q	67,810,408 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了している。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入力可能な情報に基づき作成しているが、実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる可能性がある。なお、上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」を参照。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による企業の生産活動低下に持ち直しの動きが見られてきたものの、欧州の債務危機などを背景とした海外景気の低迷、さらに円高・株安が進行するなど先行き不透明な状況が続いている。

このような経済状況下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、前年同期と比較し商事事業の輸入炭販売単価が上昇したこと及び販売数量及び利益が増加したことを主因に、売上高は231億70百万円（前年同期比20.2%増）、営業利益6億7百万円（同57.0%増）、経常利益7億16百万円（同18.1%増）、四半期純利益5億49百万円（同35.5%増）となった。なお、セグメントの業績は次のとおりである。

①不動産事業

札幌及び釧路の棚卸資産を売却したこと等により、売上高は22億3百万円（対前年同期比7.2%増）となり、営業利益は4億1百万円（同27.1%増）となった。

②商事事業

輸入炭販売単価の上昇及び販売数量・利益の増加により、売上高は136億30百万円（同31.3%増）となり、営業利益は5億18百万円（同31.5%増）となった。

③サービス事業

シルバー事業の稼働率維持等順調に推移し、売上高は42億38百万円（同2.5%増）となり、営業利益は2億5百万円（同10.1%増）となった。

④その他の事業

電気設備等の工事売上高が増加したことにより、売上高は30億98百万円（同15.0%増）となったが、炭カル肥料等の販売が不調だったため、営業損失8百万円（前年同期は32百万円の利益）となった。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、343億9百万円となり、前連結会計年度末比9億38百万円増加となった。この主な要因は、石炭等の仕入単価上昇等により棚卸資産が7億90百万円増加したことによるものである。

負債は、211億65百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億93百万円増加となった。この主な要因は、短期借入金の増加等によるものである。

純資産は、四半期純利益5億49百万円を計上し利益剰余金が増加したこと等により、131億43百万円（前連結会計年度末比5億45百万円増）となり、自己資本比率は37.3%（前連結会計年度は36.8%）となった。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想については、現時点で平成23年5月12日に公表した計画から変更はない。

なお、業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであるもので、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がある。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はない。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,108	4,257
受取手形及び売掛金	2,966	2,848
販売用不動産	487	475
未成工事支出金	694	407
商品及び製品	2,348	3,415
原材料及び貯蔵品	143	166
その他	1,572	1,999
貸倒引当金	△29	△33
流動資産合計	12,292	13,537
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,343	4,678
土地	9,817	10,144
その他（純額）	1,318	898
有形固定資産合計	15,479	15,721
無形固定資産		
その他	147	134
無形固定資産合計	147	134
投資その他の資産		
投資有価証券	2,586	2,161
長期貸付金	299	288
差入保証金	2,013	1,978
その他	586	522
貸倒引当金	△35	△36
投資その他の資産合計	5,451	4,915
固定資産合計	21,078	20,771
資産合計	33,371	34,309
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,691	2,323
短期借入金	1,744	3,043
賞与引当金	220	115
完成工事補償引当金	5	1
じん肺補償損失引当金	4	70
その他	2,489	2,745
流動負債合計	7,155	8,299
固定負債		
社債	780	766

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
長期借入金	1,391	1,550
受入保証金	4,612	4,439
退職給付引当金	634	638
債務保証損失引当金	821	1,137
負ののれん	197	49
資産除去債務	189	189
その他	4,990	4,095
固定負債合計	13,617	12,866
負債合計	20,772	21,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,782	3,782
資本剰余金	2,890	2,890
利益剰余金	3,949	4,343
自己株式	△2	△3
株主資本合計	10,618	11,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,192	1,104
土地再評価差額金	484	679
その他の包括利益累計額合計	1,677	1,783
少数株主持分	302	346
純資産合計	12,598	13,143
負債純資産合計	33,371	34,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	19,268	23,170
売上原価	16,737	20,217
売上総利益	2,531	2,953
販売費及び一般管理費	2,145	2,346
営業利益	386	607
営業外収益		
受取配当金	121	97
負ののれん償却額	128	90
その他	92	62
営業外収益合計	342	249
営業外費用		
支払利息	84	93
その他	38	47
営業外費用合計	122	140
経常利益	606	716
特別利益		
固定資産売却益	47	107
投資有価証券売却益	404	380
その他	0	7
特別利益合計	451	496
特別損失		
債務保証損失引当金繰入額	327	316
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	240	—
その他	27	151
特別損失合計	594	467
税金等調整前四半期純利益	463	744
法人税等	81	150
少数株主損益調整前四半期純利益	381	594
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△23	44
四半期純利益	405	549

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	381	594
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△350	△87
土地再評価差額金	—	141
その他の包括利益合計	△350	54
四半期包括利益	30	648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55	602
少数株主に係る四半期包括利益	△25	46

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はない。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	不動産	商事	サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,054	10,383	4,135	16,574	2,694	19,268
セグメント間の内部 売上高又は振替高	210	641	288	1,139	86	1,226
計	2,264	11,024	4,423	17,713	2,781	20,494
セグメント利益	316	394	186	897	32	929

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種機械及び電気設備等の製造修理、炭カル肥料・消石灰・石粉の製造販売を行っている。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	897
「その他」の区分の利益	32
セグメント間取引消去	△9
全社費用(注)	△532
四半期連結損益計算書の営業利益	386

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門に係る費用である。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はない。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	不動産	商事	サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,203	13,630	4,238	20,071	3,098	23,170
セグメント間の内部 売上高又は振替高	188	427	325	941	608	1,549
計	2,391	14,058	4,563	21,013	3,707	24,720
セグメント利益又は 損失（△）	401	518	205	1,125	△8	1,117

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種機械及び電気設備等の製造修理、炭カル肥料・消石灰・石粉の製造販売を行っている。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,125
「その他」の区分の損失（△）	△8
セグメント間取引消去	11
全社費用（注）	△521
四半期連結損益計算書の営業利益	607

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門に係る費用である。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はない。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はない。

(6) 重要な後発事象
該当事項はない。